

第19回 阪神高速事業アドバイザリー会議 議事概要

1. 日 時：2025年11月19日（水） 16:00～17:30
2. 場 所：中之島フェスティバルタワー・ウエスト 6階会議室
3. 出席者：井上委員、浦西委員、河合委員、正司座長、関委員、中浜委員、松坂委員
(50音順)
4. 議事要旨：
 - 「議事(1)第17・18回議事概要」について説明。
 - 「議事(2)2024年度決算報告」「議事(3)2025年度の事業実施状況・トピックス」について、それぞれ事務局より説明後、委員より以下のとおり意見が出された。
 - *逆走・誤進入対策に関する広報動画については、駅前のデジタルサイネージなど、日常生活の中で目にする媒体の活用も検討していただきたい。
 - *逆走対策に関して、高齢者にとっては紙媒体が依然として安心感のある有効な情報手段であることから、広報手段として紙媒体も継続していただきたい。
 - *逆走問題の一つに外国人のレンタカー利用が関係しているとの報道がある。今後、個別の対策が必要になるのではないか。
 - *今後の事業環境の変化を想定するにあたり、これまで当然とされてきた制度環境の変化等も想定し、思考の幅を広げておくことも大切。
 - *お客さま満足度調査を継続されているが、何が満足につながっているのかをデータで整理することで、今後の施策につながるのではないか。
 - *関西が全国・世界に先駆けて新しい技術を実装する地域となることを目指し、万博で導入された技術の早期実現に向けた取り組みを進めていただきたい。
 - *ETC専用化を推進するにあたっては、コストとのバランスも考えながら進めていく必要がある。
- *その他、万博期間中の阪神高速の交通量、パーキングエリアの改善等に関して質疑応答があった。